

2023年、令和5年の幕開けです。今年もよろしくお願いたします。

後期後半がスタートしました 冬休み明け集会はリモートで

1月10日（火）は、例年より少し長かった冬休みが明けて、後期後半のスタートでした。全国的なコロナ感染者急増の状況下で、集合ではなくリモートで各教室について冬休み明け集会をしました。

1年の初めにあたり、子どもたちには目標を持ってほしいと話し、「今できないことを、何か1つ、できるようになること」「あいさつと返事を頑張ること」のチャレンジを重ね、「いいね、四小」と言われるように、子どもたちと先生とで力を合わせていきたいと伝えました。後期後半は、1年のまとめの時期であり、次の学年への準備の期間でもあります。これから3月までを子どもたちと大切に過ごしていきます。



6年 陶芸教室 陶芸のさと南関を体感しました

1月13日（金）、20日（金）の2回にわたり、6年生は、地元で窯を開いておられる松永さんや徳永さんに教えていただきながら、陶芸にチャレンジしました。南関町は陶芸の伝統ある地域ですので、小学校卒業前に陶芸体験をすることで、ふるさとの誇りをもつとともに、卒業の記念を残す貴重な時間になりました。



土をこねて皿や湯飲み、カップの形を作り、それぞれに模様をつけたり、器の色を考えたりしてあっという間の計4時間でした。今は土色の素朴な器ですが、仕上げをしていただくとどんな器ができるのか、楽しみです。3月にうから館で開催される陶器・梅まつりに展示される予定です。



5・6年 アンガーマネジメントの授業 怒りと上手に付き合う力をつけよう

1月17日（火）、2校時に5年生、3校時に6年生がアンガーマネジメントの授業を受けました。スクールカウンセラーの松内先生と、怒り（アンガー）の管理（マネジメント）について学びました。

怒りは生きるのに必要な感情ですが、エネルギーが大きいので上手に処理しないと自分自身や周りの人が困ることになります。今回は対処法を3つ教えてもらいました。

- ①数をゆっくり1～6まで数える（怒りは6秒でピークを過ぎる）
- ②「落ち着いて」「大丈夫」と自分に言う（興奮を静める）
- ③その場から離れる（怒りの元から遠ざかる）

子どもたちが、怒りをマネジメントして、人間関係を豊かにしていく力、社会を生きる力をつけてくれると期待しています。



画面越しの四小集会(健康・給食委員会)

1月18日（水）の四小集会は、リモートでの開催になりました。健康委員会からは、新型コロナウイルス感染症や体のつくりについて、クイズ形式で説明がありました。給食委員会からは、食事のマナーや人気の給食メニュー、給食週間について紹介がありました。



画面越しにアップのようになってよく見える場面もあり、マイクを通じてお返しも全学年からできました。リモート開催の良さを生かした、今後の集会の可能性を感じさせる四小集会でした。

